

## 武漢熱線

大分市武漢事務所

全 淑 麗

Wu-han Hot Line

## 武漢市の行政サービスについて — 武漢「市民の家」

これまで武漢市には、一ヶ所で必要な行政手続を済ませることができるワンストップサービスはありませんでした。旅券を申請する場合には公安局出入境管理处へ、会社を設立する場合には商務局、工商局、税務局等の関係部署を順番に回るなど、広い武漢市内を行ったり来たりしなければならず、時間と労力を要していました。

そうしたことから、市民や企業の利便性を考慮し、「弁事難」（面倒くさい手続の問題）を解決するため、武漢市政府は総合型地域市民政務サービスセンター「市民の家」を建設しました。

「市民の家」は、武漢空港から武漢市内への入口である都市高速武漢大道と三環路の交差地に位置しており、2010年7月に着工し、2012年の10月末にオープンしました。敷地面積9.92万㎡、延床面積12.34万㎡の5階建てで、投資総額は11.5億元（約148億円）、市レベルでは中国国内最大規模の行政サービスセンターとなっています。

建物内部は、半分が行政審査・批准の行政サービスセンター、残りの半分が武漢都市計画展示センターとなっています。

複提出を減らすことが可能になっています。

また、世界最先端のクラウドサービスサーバーが配備されていることから、手続の手数料や公共料金の支払、行政審査・批准、公共資源の取引などの事務処理時間を短縮でき、市民や企業に質の高いサービスを提供しています。

### 充実の武漢都市計画展示

建物の半分を占める武漢都市計画展示センターは、1階から5階までを合わせると展示室22ヶ所、展示用面積2.2万㎡に達し、同時に2,000人の見学が可能です。

展示センターには、武漢の昔の様子、都市の変遷史、将来のイメージ図を展示しており、訪れた人々は武漢市の「過去、現在、未来」について勉強できます。

都市計画模型展示室には、壁一面に巨大なLEDスクリーンが設置され、スクリーンの手前に展示された武漢市の模型に三次元映像を合わせることで、武漢の都市建設の流れや未来の都市構想がわかるようになっています。

### 建物の特徴



「市民の家」の外観

「市民の家」は、内、外のどちらから見ても立体感のある建物です。

建物を上から見ると、2つのL字形を組み合わせた正方形になっています。2つのL字形を組み合わせた形は手と手を繋ぐ形を表し、市民と政府の連携協働を象徴しています。

また、正方形は中国の印鑑をイメージしており、武漢の深い歴史を表現しています。

入口には、高さ28m、面積5,900㎡の広さを誇るガラス張りのエントランスホールがあり、常緑の熱帯植物が一年を通して植えられるなど、中国国内でも最大規模の立派なエントランスホールです。

エントランスホールには、切り絵、竹彫、木彫、麵彫刻などの武漢地域の無形文化遺産である民間工芸品や武漢市の古い街並や人々の生活の様子などを写した写真が展示されています。

建設に当たっては環境にも配慮しており、国内トップレベルの「緑の3つ星」といわれる環境基準に準じた20項目以上の環境基準を設計に採用し、最新の技術力を活用した省エネルギー、環境保護のモデル建築物となっています。

「市民の家」は完成したばかりですが、武漢市民や企業の利便性を向上させ、武漢市建築物の新たなシンボルとなることでしょう。

### 多岐にわたる行政サービスと公共サービスの提供



手続窓口の様子

「市民の家」には、武漢市政府の審査、批准権限のある全ての部局の窓口が入っています。

1階には行政サービス審査・批准センターがあり、公安局、

工商局、税務局など武漢市の行政審査、批准権限のある47部局と中央部署の税関、外国為替管理局、出入検疫が入っています。

2階には公共資源取引ホールがあり、土地、建設、農産物、特許などの取引所6部署と水道、電気、銀行、郵便、電話などの公共サービス10部署が入っています。

行政サービス審査・批准センターと公共資源取引ホールを合わせると、合計66部局のサービス窓口が318ヶ所あり、426項目の審査・批准と公共サービスの手続を行うことができます。

ここでできる手続は、個人の戸籍登録、旅券・ビザの申請、家庭の光熱水費の支払いから、会社の設立、求人・就職、通関、外国為替、特許申請、外国人の就労・在住など多岐にわたります。

「市民の家」では、統一されたオンライン行政審査・批准システムを導入しており、1つの窓口で提出された書類は他の窓口でもオンラインで確認できることから、書類の重